

結果の概要

～平成26年10月分～

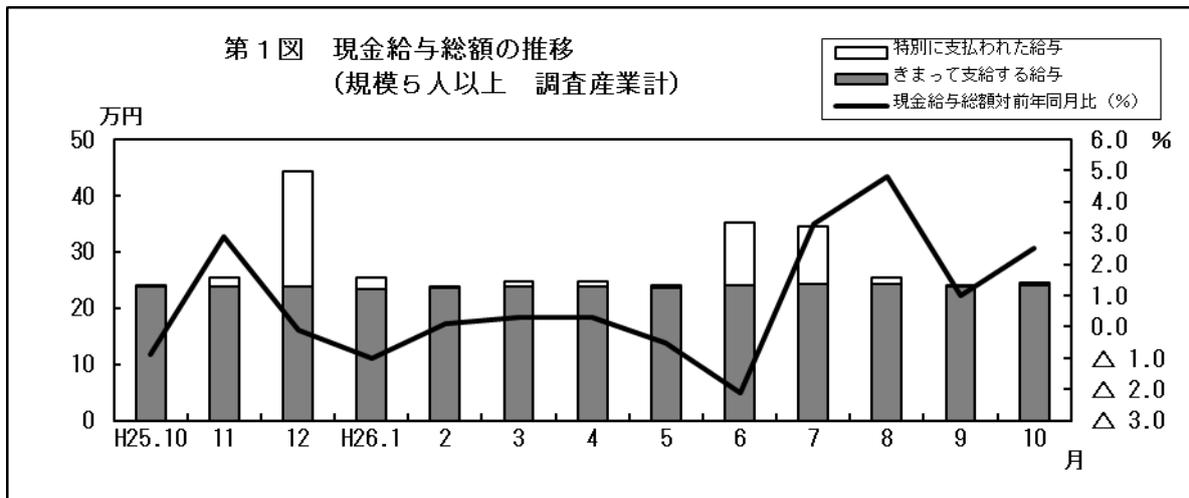
1 賃金の動き

10月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、244,580円となり、その指数は対前年同月比2.5%増（規模30人以上では、261,609円、1.0%増）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、241,113円、対前年同月比は1.7%増（規模30人以上では、258,958円、0.7%増）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、222,873円、対前年同月比は1.4%増（規模30人以上では、239,241円、0.9%増）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、338,535円（規模30人以上では、348,191円）、パートタイム労働者は、93,588円（規模30人以上では、103,391円）であった。（表20・21表）



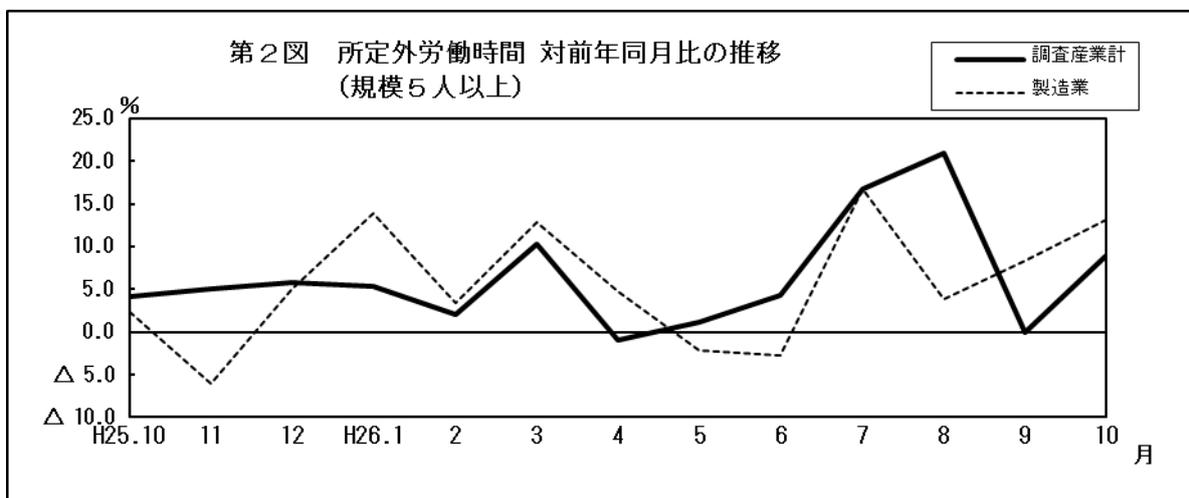
2 労働時間の動き

10月分の調査産業計の月間総実労働時間は、141.0時間、対前年同月比は2.8%増（規模30人以上では、144.0時間、1.4%増）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、10.9時間、対前年同月比は9.0%増（規模30人以上では、11.1時間、増減無し）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、15.4時間、13.2%増（規模30人以上では、15.3時間、0.6%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、173.7時間（規模30人以上では、170.2時間）、パートタイム労働者は、88.4時間（規模30人以上では、96.3時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

10月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,046,050人、対前年同月比は0.3%増（規模30人以上では、1,181,696人、1.1%増）となった。製造業では374,546人、対前年同月比は4.2%減（規模30人以上では、270,513人、1.9%減）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,260,778人（規模30人以上では、765,219人）、パートタイム労働者数は、785,272人（規模30人以上では、416,477人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で38.4%（規模30人以上では、35.2%）であった。（第1・2・20・21表）

